

2022年6月19日(日)

NPO 法人神奈川県歩け歩け協会

主管：横浜歩け歩け運動連合会

かつて港北区の高田町、下田町、日吉を流れていた「松の川」、その豊かな自然は人々の生活を潤していた。しかし、都会化や環境汚染によって汚れてしまったため、埋め立てたり、ふたをしたりするようになった。それを寂しく思った人々が、「松の川埋め立て跡地を遊歩道に」と提案。それがきっかけとなり、平成10年に都会の中の遊歩道が完成した。2.1kの遊歩道には、もともと周辺に自生していた雑草や樹木などの「野生動物」があった。自然のありのままの姿は地元の皆さんたちが、清掃、草刈り、道路の補修等を行っているそうである。

◎神奈川の鉄道シリーズ

港北区

10キロ

松の川緑道を歩く

自然植物(雑草)の宝庫とたちばな歴史の道を歩く。

【集合】午前9時 協生館前広場(慶應義塾大学)

(東急東横線・市営地下鉄、日吉駅3分)

【コース】～日吉地区センター～松の川緑道～蓮花寺～能満寺～影向寺～市民プラザ～梶が谷駅

【解散】午後0時30分頃 梶が谷駅(東急田園都市線)



日吉駅は東口は慶應義塾、西口は八方に放射線状に商業施設が伸びている。その中を通り「松の川緑道」に向かう。緑道は今年は植物の育ちいいみたく、まさにジャングルのようで、これは手入れが大変そうだ。

蟹ヶ谷榎ヶ崎公園からは川崎に入り、歴史的に重要文化財が建立してある蓮花寺、能満寺、影向寺(ようごうじ)を参拝する。今日は天気もよく暑い、いろいろな花が咲いてカラフルであった。参加者は96名+10名で、後半のお寺が階段ばかりで汗だくになり、エアコンの効いた川崎市民プラザで息かえる。大渋滞の第三京浜を見ながら橋を渡り、末長姿見台公園で解散式を行い梶が谷駅に向かう。

横歩連 春